

令和2年9月16日（水）
国土交通省 関東地方整備局
常総国道事務所

お知らせ



牛久土浦バイパス(牛久市遠山町～土浦市中)



首都圏中央連絡自動車道(つくば～大栄)

『フルハーネス型墜落制止用器具特別教育』

講習会を開催しました！

平成30年6月に労働安全衛生法施行令等が一部改正されたことを踏まえ、**牛久土浦バイパス・圏央道安全衛生連絡協議会**は、墜落事故撲滅を目標に掲げ、外部より講師の方をお招きし、『フルハーネス型墜落制止用器具特別教育』講習会を実施致しました。

開催日時：令和2年8月19日（水）9時30分～17時

開催場所：常総国道事務所牛久監督官詰所2階会議室

牛久土浦バイパス城中町 建設現場

※牛久土浦バイパス・圏央道安全衛生連絡協議会とは、常総国道事務所の指導のもとに、牛久土浦バイパス（牛久市遠山町～土浦市中）及び首都圏中央連絡自動車道（つくば～大栄）建設工事の施工業者により自主的に組織され、工事の施工に伴う「事故防止」及び「安全衛生の確保」を行うとともに技術的向上に努め、工事の円滑なる進捗を図ることを目的とする組織です。

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所

電話 029-826-2040 (代)

副 所 長	ねもと	ただし
	根本	忠
	さくらい	まこと
建設監督官	櫻井	真

牛久土浦バイパス・圏央道安全衛生連絡協議会 『フルハーネス型墜落制止用器具特別教育』講習会 実施内容

(1)「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」のポイント

※厚生労働省（平成 30 年 6 月 22 日付け基発 0622 第 2 号）

1、「安全帯」から「墜落制止用器具」へ

胴ベルト型（U字つり）は墜落制止器具とは認められず、胴ベルト型（一本つり）とハーネス型（一本つり）のみになります。

2、墜落制止用器具は「フルハーネス型」を使用することが原則となります。

高さが 6.75m以下で、フルハーネス型を着用している時に墜落すれば地面に到達してしまう可能性がある場合は「胴ベルト型（一本つり）」を使用できます。その他の場合はフルハーネス型着用。

3、「安全衛生特別教育」受講が必須

高さが 2m 以上で作業床を設置することが難しく、フルハーネス型を用いて作業する業務を行う場合には、特別教育（学科 4.5 時間、実技 1.5 時間）を受講しなければなりません。

(2)スケジュール

『フルハーネス型墜落制止用器具特別教育』講習会

9時30分～17時

場 所:(学科)常総国道事務所 牛久監督官詰所2階会議室
(実技)牛久土浦バイパス 城中町 建設現場

現場名:R1国道6号牛久土浦BP根古屋川橋第3橋上部工事
受注者:株式会社 横河NSエンジニアリング

参加者:牛久土浦バイパス・圏央道安全衛生連絡協議会
及び常総国道事務所（計33名が受講）

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、『三つの密』の回避を徹底し、十分な対策をとり実施しました。

牛久土浦バイパス・圏央道安全衛生連絡協議会 『フルハーネス型墜落制止用器具特別教育』講習会 実施状況



講師:あんてつく研究所 田中素夫氏
協議会会長:大坂建鋼 武笠浩二氏

学科研修



実技研修



集合写真

(参考)

牛久土浦バイパス・圏央道安全衛生連絡協議会メンバー表 (R2.8現在)

工 事 名	請 負 者 名
牛久土浦バイパス	R1国道6号牛久土浦BP根古屋川橋第3橋上部工事 (株)横河NSエンジニアリング
	R1国道6号牛久土浦BP土浦地区改良工事 石井工業(株)
	R1国道6号牛久土浦BPつくば地区改良その1工事 (株)浅川組
	R1国道6号牛久土浦BP牛久地区改良その1工事 (株)新井組
	R2国道6号牛久土浦BP根古屋川橋第2橋上部工事 川田工業(株)
首都圏中央連絡自動車道	R1圏央道館野地区高架橋下部その2工事 大旺新洋(株)
	R1圏央道下総大柴地区改良工事 片岡工業(株)
	R1圏央道館野地区高架橋下部その4工事 大旺新洋(株)
	R1圏央道神崎地区地盤改良その1工事 古谷建設(株)
	R1圏央道神崎下総地区改良工事 (株)畔蒜工務店
	R1圏央道つくば成田地区環境整備工事 大坂建鋼(株)
	R1圏央道館野地区高架橋下部その5工事 東鉄工業(株)
	R1圏央道館野地区高架橋下部その6工事 多田建設(株)
	R1圏央道館野地区高架橋下部その7工事 大木建設(株)
	R2圏央道つくば地区改良工事 大昭建設(株)